

尼崎市立中央中学校 校内研修
先生たちの願いと問い



Chuo Junior High School

令和4年3月17日
 尼崎市教育委員会
 尾之内 潤

前回までのおさらい (R3. 11. 15)

- 1 言葉にする力の育成
- 2 「A」の目安
- 3 事前に伝える方法
- 4 質・量の工夫



視点1
ゴールイメージの共有

視点2
課題(問い)の設定

視点3
ふりかえり
 (1) **ふりかえり**
 「自己調整力」を育む
 (2) **たしかめ**
 「よしてきた！」の瞬間を大切に



視点1 **ゴールイメージの共有**
 「めあて(目標)」の明示
 だけでなく・・・
タイムスケジュール
 見本を示す } 大田先生の授業動画

ロイロで評価Aのノートを配付(理科)
 お手本(A)となるものを配付(英語)
 第2回研修(「A」の目安)より

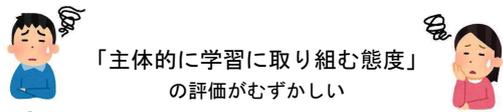


「主体的に学習に取り組む態度」
 の評価がむずかしい

視点3 **ふりかえり**

例 自分の生活の中にある美術と関連させて
 考えられているか。(美術)
 自分の生活に深めて(つなげて)
 考えているか。(家庭科)

**これまで学んだことや生活経験と、
 今回学んだこととをつなげて
 考えられているか**



〈ヒント「方法知」「内容知」を分けて考える〉
 (熊本市教育センター 前田康裕主任指導主事)

方法知 (どのように学んだか)
 だけではABC評価は難しい。

内容知 (何を学んだのか)
 各教科の「見方・考え方」 } **重要**
 各教科の観点別評価の趣旨 }




【注意】評価で悩んだときは・・・
「教師の指導改善」「生徒の学習改善」
 につながっているか見直す。

例

- ・ノートを自分なりにまとめている（国語）
- ・自分の感想や意見が述べられている（社会）
- ・自分の調べた内容を使ってまとめている。
 板書以外をノートにまとめている。（理科）

※公平だが、教師の指導改善に
 つながっているか



今日のゴールイメージ

中央中学校
 令和4年度に向けての
第一歩に



スケジュール

- 1 今年度をふりかえって
- 2 教科を越えて
- 3 「願い」
- 4 「願い」を実現するための「問い」

1 今年度をふりかえって

問1

- (1) 各教科の授業で今年度特に力を入れたことは？
- (2) 意識して使った「問い」（手立て）があれば
 教えてください。
- (3) R3研究主題のどれにあてはまる？
 ユニバーサルデザイン
 ICT活用
 キャリア教育（未来に目を向け）
 その他

問2 課題はなんですか？



2 教科を越えて（学年、学校全体） 大切にすることは？



3 卒業するとき、どんな力を 付けていてほしい？（願い）

グループで意見交流→最大3本柱に集約



4 それを実現するための「問い」

各教科で

「**願い**」を実現させるための
「**問い**」は？

【参考】

R3 あまっ子ステップ・アップ調査の生活実態調査より
3 9

勘違いや思いこみがないか、
しっかり見直しをしている。

2021中2 61.0% 2020中1と比べて **+14.6%**

5 5

みんなで決めた学級目標に力を合わせて
取り組んでいる学級です。

2021中2 74.6% 2020中1と比べて **+16.7%**

8 8 **国語**で物語を作ったことがある。

2021中1 52.6% 尼崎市と比べて **+7.2%**

2021中2 72.5% 2020中1と比べて **+25.5%**

9 1 **数学**で文章や式、図などを組み合わせて**自分の考えを説明**

したことがある。

2021中1 50.0% 尼崎市と比べて **+9.0%**

2021中2 55.9% 2020中1と比べて **+12.9%**

9 4 **英語**で、買い物や旅行などの場面を通して、

自分で会話文を作って**コミュニケーション**をしている。

2021中1 51.3% 尼崎市と比べて **+5.3%**

2021中2 70.7% 2020中1と比べて **+25.2%**

1 0 0

社会の授業で、今世の中で起こっていることについて、
資料をもとに考えることがある。

2021中1 63.7% 尼崎市と比べて **+12.6%**

2021中2 55.6% 2020中1と比べて **+25.0%**

1 0 2

理科の授業で、実験や調査に取り組む前に、
仮説を立てたり結果を予想したりしている。

2021中1 83.7% 尼崎市と比べて **+12.4%**

2021中2 80.0% 2020中1と比べて **+19.6%**

→共通していた**アウトプット**の重視

AGS公開授業 (令和4年2月24日)

「空飛ぶ車を実現した社会を
考えてみよう」(総合)
「尊厳死についてあなたは賛成ですか、
反対ですか」(道徳)



5 「願い」をカタチにするために

全校学習集会の提案

(平成27年2月 広島市立紙園東中学校視察)

4月 全校生徒と先生を対象に、
「学びのガイダンス」集会を行う

一斉授業は「コの字型」

グループは男女4人組

など、グループ学習の作法を全員で共有

7月 生徒会がアンケートを実施

9月 「学び」の作法を再確認する集会



注意点

✕ベクトルをそろえる

○ベクトルがそろっている
ことを自覚する

新しいことを始めるのではなく、
今やっていることを再整理し、
組織的に行う

「パパ、プレポーやるよー」
先生役をしたがる二女（小2）



気が乗らない自分

ゴールイメージ（プレポーに乗る）はあるが、
そのゴールを達成したらどんないいことがあるのか
がわからないと、モチベーションが上がらない。

【学び1】 中長期的なゴールイメージを
共有する必要性



なんでせなあかんの？



二女「足をくねくねさせて。腰をゆらして」
何もつかめず、あきらめかけた自分
長女（小6）「壁をつたってやってみたら」
壁をつたいながら、何度もくりかえすと
少しずつ上達し、乗る感覚を覚える

【学び2】 ハードルが高すぎるとモチベーションは
上がらない。スモールステップで何度もくりかえし

→プレポーに乗れば、長女との
コミュニケーションのきっかけになる。
【意義を見出す】



30分ほどのくりかえし練習の末、
壁から手を放して
前進できるように！

成功したとき、子どもたちは帰る準備
二女「はよ帰ろー」 長女は一言もなし

【学び3】 「できたね。すごいやん」
その一言が、次のモチベーションにつながる。

苦手なことをやってみて
学びのプロセスを体感するのも
いいのでは



おつかれさまでした。

